

これが、僕のお仕事です！



昨年度より、足羽ワークセンターでは、新しい取り組みの一つとして「介護補助業務」に取り組んでいます。

「介護補助」とは、老人施設での介護補助業務のことで、一般就職を目指す方に対し、実際の現場での業務に取り組んでいたときながら必要な技術を身に付けていただく場となっています。

現在、4名の利用者の方が当法人の老人施設「愛全園」で「介護補助業務」を行っています。今回は、ぼたん・なでしこユニットで作業を行っている、Sさんの様子をご紹介します。



Sさんは、昨年5月から「介護補助業務」に取り組んでいます。作業内容は多岐にわたりますが、数ある作業の中でも高齢者の方にとって大切な水分補給のためのゼリー作りに積極的に「今日は何の味のゼリーにしようかな？」と考えながら楽しんで作業を行っています。



作業内容

Sさんの作業内容

- 洗濯業務（干し・たたみ）
- シーツ交換 ●居室清掃 ●洗面所清掃
- エプロン・おしごり洗い
- 机拭き ●エプロン・おしりふき作り
- 水分ゼリー作り



真剣に、ゼリーを作っています

愛全園とのつながり

月に1回、愛全園の担当職員、ユニットの責任者と話し合いの場を設けており、作業の様子、課題点、今後における改善点を話し合っています。話し合いを通して、利用者の方の特性を理解していただき、その方に合った作業を提供できるように工夫しています。

また、Sさんは細かい報告が苦手で、好きな作業だけを選ぶなどの課題もありました。話し合いを重ね、報告カードの使用や、作業ごとに愛全園の職員に報告し、次の指示をもらうなどの対策案を考え、それを作業に取り入れることで、積極的に作業に取り組むことが増えてきています。



報告カードを使って職員に報告するSさん



職員同志、たくさん意見が出ますよ！

愛全園職員にインタビュー



Q1・助かっている部分はどこですか？

A1・洗濯業務や居室の掃除などの業務を行ってくれるおかげで、トイレ誘導等の利用者の方の支援に入ることができます。

以前より、利用者の方の居室も綺麗になっていると思います。

また、シーツ交換やおしばり作りなどをを行うことで、居室に足りない物や交換忘れがなくなつて助かっています。

Q2・もう少し頑張ってほしい部分はどこですか？

A2・洗濯物の名前が間違っていることがあります。シーツ交換でも慣れてくるとシワ

が目立ち、少し雑な部分が出てきているところがあります。

Q3・障がいのある方に対してもイメージの変化はありましたか？

A3・チームの一員と思うようになりました。業務中に利用者の方から手をつかまれても、じつと待つてくれるところに、優しさを感じました。

Q4・実際の業務をしていく上で、難しいと思う部分はどこですか？

A4・Sさんにどのように伝えたら良いのか、難しく感じます。Sさんの性格や障がいの特性等をいろいろ知る勉強会をしないといけないと思います。仕事をする中で、どうしたらやりがいをもつて仕事ができるのか、どう伝えた方ができるのか、どう伝えたら、Sさんに伝わるのか考えながら行っていかないといけないところです。

開始して1年が経ち、初めは自分たち足羽ワーケンセンター職員への質問が多くありました。今では愛全園の職員から直接作業指示を受けて取り組まれており、その姿はとても頼もしも感じます。また、日々よつて業務内容の優先度も変動することもありますが、臨機応変に対応する力もつけながら皆さん一生懸命に取り組まれています。

足羽ワーケンセンター
サービス管理責任者
加藤 梓